

事業所自己評価・サービス評価

(小規模多機能型居宅介護)

サービス種別	・小規模多機能型居宅介護 ・介護予防小規模多機能型居宅介護			
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ほなみ			
事業所所在地	山形県最上郡舟形町舟形42-1			
連絡先	電話	32-3900	FAX	32-3933
運営推進会議開催日	令和3年2月19日 開催			
提出書類	<input type="checkbox"/> 事業所自己評価 (9枚) <input type="checkbox"/> サービス評価総括表 (3枚)			

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 11月 26日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	8	0	0	11

前回の改善計画	自宅での様子や体調、困りごと等を確認し、ミーティング時に伝達していく。また、伺いたい情報や分からない事は電話するなどして確認し、情報の共有に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問時や家族からの電話で状態を確認し、ミーティングで他のスタッフに伝達できた。知りたい事は家族に電話して確認し、情報の共有に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	6	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新規利用開始時に、アセスメントした内容を引継ぎ時に伝え、共有を図った。本人、家族が必要としている支援を確認し、わからない事、知りたい事は、家族に確認し、その内容を職員間で情報を伝達した。 新規利用直後は、利用者が慣れるまで関りを多く持ち、傾聴を行ない、他の利用者に紹介するなど、不安感なく早くなじめるよう努めて、家族に対しても、相談しやすい雰囲気作りに努めた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 11月 26日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	8	1	0	11

前回の改善計画	気づいたことはケース記録や引き継ぎ等で共有し、本人の思いが繋がる様統一した支援を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人との会話の中で気づいた事等、小さなことでも「～したい」の思いをケース記録に残し引き継ぎ等で共有し支援に繋げる様に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	3	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	9	1	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	10	1	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人がどうありたいか、どのような生活がしたいか思いを汲みとり、目標を理解している。又、その目標に合った関りを他職種で連携を図り、支援を行なっている。 関わった時に良かった内容、悪かった内容は引き継ぎで他職員に伝え、次の対応に活かした。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「～したい」に近づくよう創作活動やレクレーション等を工夫し支援を行なっているが、認知症の方で意思表示が難しい場合の、目標やゴールはこれで良いのか、本人の思いに繋がる様な統一した支援になっているか自信が持てない事がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 全員がケアプランを理解し、日々気づいた事を記録し、個々の思いをチームで共有し統一した支援を行なう。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 11月 28日

3. 日常生活の支援

メンバー 小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	10	0	0	11

前回の改善計画	積極的にコミュニケーションを図り信頼関係を築き生活環境や生活歴等を理解する。食事についての知識（咀嚼、嚥下、認知度や食事状況の観察等）を高めるため、勉強会や研修に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コミュニケーションを図りながら、慣れていない利用者に対しても、少しずつ信頼関係を深め、仕事（就業歴等）や日常生活環境について知る事ができた。 委員会を中心に勉強会を実施し知識の向上に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	4	7	0	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	8	1	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	10	1	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	7	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	8	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>以前の暮らし方について本人家族に聞き取りし、なるべく多くの情報を把握できるよう努め、本人の状況に合わせ、出来る所は手をかけすぎず、自立支援に努めた。</p> <p>表情や行動から本人の思いを汲みとり、その状態に合わせて寄り添い安心して過ごしてもらえるよう努めた。</p> <p>気持ちや体調の変化に気づいた時は、他職員と情報共有し対応方法を相談し臨機応変な対応に努めた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>「以前の暮らし方」はコミュニケーションを図る中で、本人に聞いたり、家族から情報を得られても、10個以上の把握は難しい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>現在の生活環境を紐解いて理解したり、本人や家族と積極的に関わりを持ち、以前の暮らし方をより把握出来るようにする。また、知り得た情報はミーティングや会議で共有していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 11月 28日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	1	0	11

前回の改善計画	全利用者の地域担当の民生委員や、関係の深い方の情報を把握し、緊急時対応シートに記載する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の関りある方を知り得た時に、その都度緊急時対応シートやフェイスシートに追加し、把握に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	9	0	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	9	0	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	10	0	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	10	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>これまでの生活スタイルや人間関係が切れないう、過度なサービス提供は控え、家族、介護者や地域の方との関係を大切にされた支援に努めた。</p> <p>日中訪問し生活状況や地域の社会資源（ゴミ捨てや雪かきの協力者等）を把握するよう努めた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月2日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小規模スタッフ11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	9	0	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	5	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	7	0	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所だけではなく、地域資源を活用しながら、個々の状態に応じた柔軟なサービスを提供している。朝・昼・夕の職員の勤務が切り替わる時間に引き継ぎを行ない、利用者の変化や気づいた点について報告し、パソコンや引き継ぎノートに記載し、情報の共有に努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 12月 2日

6. 連携・協働

メンバー 小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	1	4	6	11

前回の改善計画	自治体や地域包括支援センターの会議に可能な限りスタッフ全員が参加・傍聴できるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度はコロナ禍にあり、地域ケア会議の中止や参加制限があり、発表者2名のみの参加となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	7	2	0	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	7	2	0	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	0	9	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	11	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
町内会や消防団活動へ参加できている。勤務調整等、他職員の協力と理解を得られているため。サービス担当者会議には他サービス事業所も参加しており、連携や協働する事ができている。自治体や地域包括支援センターとの会議があれば毎回参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症により、地域活動やイベントが中止となったり参加できる職員も制限された。感染症対策により施設内への立ち入りを制限している為、以前の様な地域住民の来所はできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極め、会議や地域のイベントが再開されれば積極的に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 12月 3日

7. 運営

メンバー 小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	0	0	11

前回の改善計画	小規模多機能型居宅介護事業所の在り方について、事業計画や各会議の資料をしっかりと読み込み知識を高める。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業計画や会議資料の確認及び参加する事で知識の向上を図った。 毎月運営会議の報告は口頭にて伝達し、会議資料も回覧され目を通してている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	10	0	0	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	1	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	8	2	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 運営会議や小規模会議で事業所の在り方について意見を言う事ができている。 利用者や家族からの意見苦情はスタッフ会議で対策を検討し、改善するよう努めている。 運営推進会議等で地域の方からの意見や苦情も同様に対策検討し、運営に反映させている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域に必要とされる拠点となる為に昨年度まで認知症カフェや認知症サポーター養成講座を町と協力して開催していたが、4月以降新型コロナウイルス感染を予防するため、認知症カフェは控え、町からも認知症サポーター養成講座の依頼はない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極め、地域とのつながりを持ち、必要とされる事業所となる為に、認知症カフェ等の活動を再開していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 12月 3日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	4	2	11

前回の改善計画
自主研修や興味のある研修に、積極的に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果
認知症研修や内部研修に参加しスキルアップを図った。
新型コロナウイルス感染防止に努める為、外部研修については、積極的な参加が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	6	0	0	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	6	0	11
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	6	3	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	5	0	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
各委員会、内部研修に参加しスキルアップ出来るよう努めた。
利用者の日々の状態の変化に早く気づき、身体的及び精神的な危険を予知し、リスクマネジメントとして、朝の申し送りで本日のリスクを職員同士で共有し予防に努めている。
新型コロナウイルス感染症の影響で数は少ないが、地域支援センター主催のケア会議にも参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新型コロナウイルス感染症の影響で外部研修も少なく、参加についても控えていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極め、自主研修や興味のある研修に、積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年 12月 3日

9. 人権・プライバシー

メンバー 小規模スタッフ 11名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない (現在、小規模に身体拘束の対象者はいない)	11	0	0	0	11
②	虐待は行われていない (虐待は違法であり、いかなる虐待も行われていない)	10	1	0	0	11
③	プライバシーが守られている	7	4	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している (現在、成年後見制度を活用している方はいない)	9	2 活用の方向で話 出ている人あり (検討中)	0	0	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束、虐待防止の勉強会を年3回実施し、全職員に周知徹底した。身体拘束は現状行われておらず、虐待についての報告もない。 個人情報は第三者の目に触れないよう鍵付きのキャビネットに保管し、適切に管理している。また、個人情報に記載されている書類等はシュレッダーを使用し破棄している。 写真等を広報誌やホームページに記載する際は、本人及び家族に確認を取り了承を得ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人舟和会	代表者	伊藤 宏	法人・事業所の特徴	小規模多機能型居宅介護事業所は、利用者が可能な限り住み慣れた地域で居宅生活を継続できるよう、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」を中心として「泊り」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境のもと日常生活上の支援や機能訓練を行います。利用者がこれまでの地域とのつながりを保つことができる環境作りを目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所ほなみ	管理者	田中 のぞみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・本人では分からない事は、ご家族へ伺う等、積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築き生活環境や生活歴等を理解する。 ・食事についての知識(咀嚼・嚥下・認知度や食事状況の観察など)を高めるため、勉強会や研修に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方については本人、ご家族へ聞き取りしなるべく多くの情報を把握出来る様努め、意思表示の難しい方については、表情や行動から本人の思いを汲みとり、その状態に合わせて寄り添い安心して過ごしてもらえるよう努めた。 ・委員会を中心に勉強会を実施し知識の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善計画に取り組んでいるようなので、出来ていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」を10個以上把握できているかという課題の達成が難しく、取り組めていないため、利用者一人一人に向き合う時間を設け、一人でも達成できるよう取り組んで行く。また、統一したケアが提供できるよう、職員間で知り得た情報は共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示スペースを活用し地域に情報を発信していく。 ・今後も事業所内外の衛生管理に努め、清潔な環境を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルスの影響により面会、地域交流ができなかったが、所内作品展示スペースは設置していた。広報誌やHPで発信する事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は、新型コロナウイルス感染防止の為、施設内に入る事が出来ず、施設内の様子が分からなかった。 ・新型コロナウイルス感染防止の為、玄関が施錠されており、入りやすくはないが、感染予防の工夫がないとも言えない。 ・地域の方やご家族の方が入りやすく利用者の方と触れ合えるような形がもっとあればいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において施設内に地域の方を招くことが難しいため、施設内での様子を知っていただくよう、法人ホームページや広報誌等を通して情報を発信していく。また、地域の方の作品等の展示は継続し、地域とのつながりを感じて頂けるような雰囲気づくりを行っていく。 ・利用者の健康安全を守る為、職員の感染予防(毎朝の検温・手洗い・手指消毒・県外からの往来・こまめな掃除・消毒など)を徹底する。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>・令和2年度も引き続き認知症カフェの開催等を通して、地域の社会資源としての役割を担えるよう、活動の周知を図っていく。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染防止の為、認知症カフェの開催は出来なかった。</p>	<p>・新型コロナウイルス終息後、地域の方と事業所で認知症カフェを行って行くのも良いのではないかと。 ・今年度は、コロナ禍で地域行事に参加する事はできなかった。また、事業所内に入れず、相談しやすい場にもなっていなかった。 ・地域の中に出て行く計画や活動が必要なのではないかと。 ・住み慣れた地域で自宅での看取りを行いたいが、地域の医師に協力して欲しいと依頼してほしい。</p>	<p>・感染症の発生状況に応じ、感染予防に努めながら、舟形町地域包括支援センターと連携を図り、出張相談会など地域に貢献できるような活動を行っていく。 利用者が安心して住み慣れた地域での生活が継続できるよう、一人一人のニーズに応じた情報提供ができるよう努めていく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・令和2年度も、買い物や買い物代行、通院送迎等の支援や地域行事への参加等継続し、地域との関わりを断ち切ることを断ち切るよう支援する。</p>	<p>・馴染みの商店や理美容店への送迎、病院への通院支援等、地域との関わりが継続できた。 地域行事は新型コロナウイルス感染防止の為、参加できなかった。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染防止の為、地域の行事、イベントに参加出来なかったが、送迎時に車内からの花見や紅葉ドライブは行えて良かった。新型コロナウイルスが落ち着いたら、地域住民と一緒に畑もしたりして良いと思う。</p>	<p>・今後も地域との関わりを持ち、買い物や理美容院への外出支援、地域行事への参加等を継続していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・令和2年度も、認知症カフェを定期開催し、介護相談の場、地域の心配な方々の相談の場として地域住民の集いの場を提供する。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染防止の為、認知症カフェは実施できず、地域の集いの場は提供出来なかった。</p>	<p>・認知症カフェの開催や防災訓練など新型コロナウイルス感染防止で中止だったが、これまでは運営推進員と一緒に取り組んできた。</p>	<p>・コロナ禍で事業所の様子を直に見て頂くことが難しいため、事業所の日常の様子を写真に撮り、地域の代表である運営推進委員の方に理解を深めていただけるよう努めていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・令和2年度も、防災訓練を定期的に開催し、有事の際にはスタッフ全員が適切に対応できるよう避難場所や誘導経路の周知に努める。</p>	<p>・防災訓練は想定内容を変えて、毎月開催した。 8月には舟和会3施設合同避難訓練実施。10月には総合防災訓練を実施し、有事の際の適切な対応の周知に努めた。</p>	<p>・地域の避難訓練が不定期な事もあり、新型コロナウイルス感染防止の為、今年度は参加できなかった。 ・役場では、ほなみでの避難訓練について、危機管理室が参加している事もあり福祉課の職員が参加していない為、今後検討していきたい。 ・事業所の防災計画を事前に配布して欲しい。 ・災害時頼りにしているものであり</p>	<p>・事業所が急傾斜・警戒区域に該当しているため、地域の方々の不安を解消できるよう、ほなみの防災訓練や防災計画について運営推進委員の方に情報提供するとともに、災害時には在宅利用者の安否確認等で協力も必要となることから舟形町福祉課との連携を図っていく。</p>

			<p>がたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・民生委員が地震発生時に（震度5、冬期間は震度4）翌日地域の安否確認を行なっている。夜間は地震になっても独居の方は寝ている方が多く確認できない。	
--	--	--	--	--

総一⑪